

販売馬の手術歴等について

日本競走馬協会主催のセレクトセールでの公表事項である下記(1)～(8)の項目にならない、販売馬の販売開始前の手術歴等について、下表のとおりご案内いたします。

なお、該当する販売馬につきましても、厳しいチェックのうえ販売馬リストに名を連ねているものであり、他馬同様、順調に育成されていることを申し添えます。

※販売終了までの期間中に新たな該当事項が確認された場合は、順次公表いたします。

(1)悪癖(さく癖、旋回癖、熊癖) (2)目の異常(白内障、黒内障、緑内障)、月盲 (3)上気道疾患に対する外科手術歴
(4)開腹手術歴 (5)骨折に起因する外科手術歴 (6)関節内骨関節疾患に対する外科手術歴
(7)腱及び靭帯(支持靭帯)の切断もしくは切除手術歴 (8)去勢

(2022年5月22日現在)

No.	募集馬	悪癖	手術歴(実施日:年/月/日)
276	ディヴィナプレシオーサの21		右飛節 関節炎により関節洗浄(2021/5/4)
281	ウィズアミッションの21		右肘 関節炎により関節洗浄(2021/10/9) 左飛節OCD除去手術(2021/12/7)
282	ヌチバナの21	旋回癖	右前後肢球節骨片除去手術(2022/1/25)

【用語説明】

旋回癖

馬房の中でぐるぐる回る癖で、馬の行動異常の中でも常同行動と呼ばれるもののひとつです。常同行動というのは、一定の動作が繰り返し行われますが、目的や意味がはっきりしないため制御したり矯正したりするのは難しいとされています。ただ、旋回癖は特別な疾患に結びつくような性格はありません。

OCD

離断性骨軟骨症(Osteochondritis Dissecans)のことで、主に2歳以下の若駒に起こりやすく、関節(主に飛節、球節、後膝、肩)の軟骨から軟骨片が剥離し、炎症、関節液が増えることで関節の腫脹が起きる症状です。関節鏡手術による軟骨片摘出、増量した関節液を抜いた後にヒアルロン酸を注入するなど予後は良好で、早い段階で処置をすれば、術後も競走能力に影響を及ぼさないとされています。

※社台グループの各牧場では定期的に検査を実施しています。

関節炎(関節洗浄)

免疫力が低い若齢期に起こる関節内の細菌性感染のことで、関節液の増量と跛行の症状が見られます。細菌が入った関節内をきれいにするため、関節内をよく洗い抗生物質を注入する治療が実施されます。これによりスムーズに回復し、短期間で放牧を再開することができます。治療により回復した馬は後遺症を見せることもなく、また競走能力に影響をおよぼすことがないとされています。